

授業科目(ナンバリング)	茶道文化IVB(AB402)			担当教員	安部直樹・嶋内麻佐子		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	4年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
茶道文化IA～IVAの集大成として卒業の茶事を行い、茶道におけるもてなしについての考えを深める。茶事の運営を通して、相手への心遣いや協調性、礼儀作法を学び、今後の社会生活に繋げる。							⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	茶事の基本を理解し、役割について説明ができる。				課題レポート	10%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	8～10名のグループで仲間と協力して、実技(茶事の準備を含む)に取り組むことができる。				授業態度	70%	
多様性理解力	仲間と協力し、茶事を運営することができる。				卒業の茶事への参加	20%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
卒業の茶事への参加は20%とし、茶事の事前準備や当日の取り組む姿勢から評価する。授業態度については70%とし、稽古への積極性を評価する。課題レポートは10%とし、卒業の茶事を終えての感想や気付きから評価する。また、毎回の授業内容について授業中に記録カードに記入させ、フィードバックを行う。							
授業の概要							
8～10名のグループに分かれて、外部の客を招き、卒業の茶事を成功させることを目標とする。各グループで茶事の流れ(寄付き、露地、外待合、炭点前、懐石料理、中立ち、濃茶席、薄茶席)について、グループワークを通して稽古をする。客への案内状の作成や炭の準備も行う。授業内で使う抹茶・菓子、その他の消耗品など、1,400円の諸経費が必要である。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。							
教科書・参考書							
教科書：嶋内 麻佐子 『茶道文化(基礎編)』九州文化学園茶道文化研究所(2011年) 参考書：嶋内 麻佐子構成DVD『鎮信流 茶会の流れ』長崎短期大学特色GP関連事業(2007年) 安部 直樹、嶋内 麻佐子、木村 勝彦『大学の教養教育における茶道文化の意義に関する研究』人間社会学部国際観光学科共同研究(2018年) 指定図書：桑田 忠親著『茶道の歴史』講談社(1979年)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶室での貴重品の取り扱いには自己管理とする。茶道具を必ず持参する。アクセサリは身につけない。靴下を着用する。遅刻・欠席をしない。</li> <li>・茶道文化履修の集大成として「卒業の茶事」を実施するにあたり、4年間共に学んできた学友と力を合わせて茶事に取り組んでほしい。学びの中心にあった「ホスピタリティ精神」や「もてなし」についてもう一度見つめ直し、4年間の思いを込めた茶会を成功させてほしい。</li> </ul>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	・薄茶点前(炉)見本	薄茶点前(炉)の見本を確認し、概要を理解する。	薄茶点前の流れと炉の点前の置き合わせを予習・復習する。
2	・濃茶点前(炉)復習①	茶会形式で濃茶点前(炉)の復習(拝見を含む)。	濃茶点前の流れと炉の点前の置き合わせを予習・復習する。
3	・濃茶点前(炉)復習② ・薄茶点前(炉)復習①	茶会形式で濃茶点前および薄茶点前(炉)の復習(拝見を含む)	濃茶点前および薄茶点前の流れと炉の点前の置き合わせを予習・復習する。
4	・濃茶点前(炉)復習③ ・薄茶点前(炉)復習②	茶会形式で濃茶点前および薄茶点前(炉)の復習(拝見を含む)。	濃茶点前および薄茶点前の流れと炉の点前の置き合わせを予習・復習する。
5	・炭点前(炉)見本	炭点前(炉)の見本を確認し、概要を理解する。	炭点前の流れと道具の扱い方を予習・復習する。
6	・炭点前(炉)復習① ・炭を切る	炭点前(炉)の復習。 茶事本番用の炭を切る。	教科書 p.63 を読み、炭の種類を整理する。
7	・炭点前(炉)復習② ・茶事の日程 ・役割決め	炭点前(炉)の復習。 茶事の日程・役割を決める。	参考書『大学の教養教育における茶道文化の意義に関する研究』pp.30～70を読み、予習・復習する。
8	・班別練習①	卒業の茶事に向け、班別に練習を行う。	参考書『大学の教養教育における茶道文化の意義に関する研究』pp.30～70を読み、予習・復習する。
9	・班別練習②	卒業の茶事に向け、班別に練習を行う。	参考書『大学の教養教育における茶道文化の意義に関する研究』pp.30～70を読み、予習・復習する。
10	・茶事の準備①	客迎えの準備を学ぶ。	卒業の茶事の成功を目指し、班別練習に参加する。
11	・茶事の準備②	客迎えの準備を学ぶ。	卒業の茶事の成功を目指し、班別練習に参加する。
12	・卒業の茶事(前日)	客迎えの準備を学ぶ。	各役割の動きについて予習・復習をする。
13	・卒業の茶事(本番)	客を招き、卒業の茶事を実施する。	各役割の動きについて予習・復習をする。
14	・初釜	新年を祝う初釜を実施する。日本の正月や初釜について学び、鎮信流の流儀の特長を示す床の飾り方や、古来松浦家の風習について理解を深める。	日本の正月について予習・復習する。
15	・松芳忌	学校法人九州文化学園創設者である安部松芳氏の遺徳をしのび、献茶式を実施する。4年間のまとめと、卒業後の鎮信流茶道との関わりについての説明をする。	教科書 pp.7～12 を読み、予習・復習する。